

震災避難行動マップ

気象台が発表する早期注意情報が警戒レベル1、注意報が警戒レベル2となります。

各家庭で津波避難先を書き込みましょう

無断複製】 © 2020

大きな地震では古いブロック塀が倒壊する危険があります。避難する時は十分に注意しましょう。





避難生活

指定避難所

災害が落ち着いた後、自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、避難生活を送るための施設（公立小・中・一部の高校の体育館・コミュニティセンターなど）

施設名称	所在地	避難場所	収容人数
福春小学校	春田野1-2901	体育館 特別活動室 トワイライトルーム1 トワイライトルーム2	447
南陽中学校	春田野3-121	体育館 格技場 特別活動室	594
南陽地区会館	春田野3-101	体育館 和室	233

 津波避難ビル		
施設名称・マンション名	所在地	階層
福春小学校(北校舎棟)	春田野1-2901	3
福春小学校(南校舎棟)	春田野1-2901	3
南陽中学校(北校舎棟)	春田野3-121	3
南陽中学校(中校舎棟)	春田野3-121	3
サンモールV	春田野1-802-1	4
メゾン二村	春田野3-1502	4
メゾン二村Ⅱ	春田野3-902-1	4
メゾン二村Ⅲ	春田野3-902-2	4
イオン南陽ショッピングセンター	春田野1-330	4
ダイアパレス戸田川緑地	春田野2-3005	10
ライオンズガーデン南陽町	東蟹田1804	14
名古屋市農業文化園	春田野2-3204	2

南海トラフ巨大地震発生時の対応

港区福春学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、震度6強の非常に激しい揺れが想定されます。**自分の身を確実に守る**ため、日頃から**家具の転倒防止**などの耐震対策に努めましょう。浸水が1.5mから2.0mに及ぶ箇所もあります。**名古屋港への最短津波(30cm)到達時間は96分**と予測されており、遡上はその後始まります。この時間を最大限に使い津波避難ビルへ避難しましょう。

また、液状化現象も起きる可能性も高い地区です。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出して通ることができなくなります。これらを踏まえ、適切な避難先と、そこで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

- 身の安全を確保する
- 安全に消せる場合は火を消す
- 可能であれば、扉を開けて出口を確保する
- 倒れそうなタンスなどの家具、ガラス戸から離れる
- 机の下に隠れ、机の脚を掴み、低い姿勢で身を守る
- 屋外にいる場合は、建物やブロック塀など、倒壊の危険がある場所からすぐ離れる



提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

避難の際は、近隣で助けを求める方がいないか、大きな声で確認しながら避難しましょう！

- 家族、隣近所への声かけ、安全・安否の確認、情報交換する
- 家屋、近所の被害状況、危険度を確認
- 火元を消す・ブレーカーを落とす
- ガス・水道の元栓を閉める
- 扉を開けて出入口の確保する
- テレビやラジオ等で正しい情報を収集
- 非常持出袋を確認する

地震発生

揺れがおさまった

津波避難ビルを目指して避難開始

津波から安全に避難するための5つのポイント

①揺れがおさまったら、津波避難ビルへ避難！



②隣近所へ声をかけ、原則徒歩で避難！



③高齢者や障がいのある方などの避難支援を！



④引き返さない！安全確認が済むまで避難継続を！



⑤川沿いには絶対近づかない！



非常持出品の準備

いざという時すぐに持ち出せるよう、非常持出品を準備しておきましょう。

【備蓄品の例】災害に備えて用意しておきたいもの

7日分程度用意しましょう

- 命をつなぐために用意しておきたいもの
- 保存がきく食品（自分が食べやすいもの）
 - 常備薬（持病の薬を含む）
 - 飲料水（ペットボトル）
- 1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品（ゼリーなど）と組み合わせることで量を減らすことができます。

- ◆防災用品
給水用のポリ容器・バケツ
ロープ
パール
のこぎり・工具など
- ◆燃料
カセットコンロ（予備のボンベ含む）
固形燃料
- ◆寝具等
毛布
寝袋
キャンプ用テント
- ◆便利用品
ドライシャンプー

非常持出品の例

- ◆防災用品
携帯ラジオ
ヘルメット・防災ずきん
軍手
マスク
- ◆貴重品
現金（小銭も必要）
預（貯）金通帳の写し
健康保険証・免許証の写し
カード類
認印・印鑑など
- ◆衣料品
衣類（着替え）
タオル（大小2種類）
- ◆照明等
懐中電灯（電池含む）
マッチ・ライター
- ◆医療用品
三角せん
包帯・ガーゼ
ばんそうこう
消毒薬
ウェットティッシュ（ティッシュ）
お薬手帳
- ◆食器類
はし・スプーン
紙皿・紙コップ
- ◆便利用品
筆記用具
新聞紙
携帯用トイレ
ゴミ袋
キッチン用ラップ
使い捨てカイロ
雨具
手動携帯電話充電器

- ◆その他（個人的に必要なもの）
- 粉ミルク 生理用品
 - 紙おむつ 予備のメガネ・補聴器など

津波警報解除
避難勧告解除

災害の危険解消
自宅での滞在が可能か

- 在宅避難
- ✕指定避難所等へ

- 避難に適した靴を履いて外に出る
- 逃げ遅れないように早目に避難を始める
- 隣近所へ大きな声で声をかけながら、あらかじめ決めた津波避難ビルへ向かう
- ラジオ、スマートフォンなどで適宜、情報を確認する
- 持てる量の非常持出袋を持って行く
- 落下物など周囲に気をつける